

# 石島会計メモ

平成27年 5月号



中央区日本橋本石町 4-5-12  
友泉本石町ビル 3階  
石島公認会計士事務所  
(03)3275-1311  
発行責任者 石島洋一

## 監査役って、何をする人??



### ☆☆監査役の役割

「取締役とは？」と言われてれば、会社の経営を担う役員とすぐに回答できる人は多いかもしれませんが、監査役となると「・・・?」、返答に困ってしまう方が多いのではないのでしょうか。

“監査”役というからには誰かを監視する役割をもっているのだろうということとは想像しやすいですが、監視対象は何かというのが疑問です。



会社法では、『監査役は、取締役の職務の執行を監査する』とされています。監査役は、会社経営者である取締役の行いを監視する役割を担っている役員なのです。取締役を監視する以上、監査役の権限は強くなければなりませんから、監査役の選任や報酬の決定は取締役ではなく株主総会にて決定されることとなっており、取締役が都合良く操作することはできなくなっています。

### ☆☆厳しい監査役と穏やかな監査役がいる?

監査役は取締役の業務を監視する役割ということですが、取締役の行為のうちどこまでを監視するか?という範囲によって、実は2種類の監査役がいます。

ひとつは、**取締役の業務全般を監視する**責務を負う監査役です。取締役が自己の利益を優先した行為を行っていないか、不正行為を行っていないかなど、取締役を細かく監視するタイプです。

このタイプの監査役は、取締役会に参加して意見を述べたり、取締役の行為を止めるよう請求したりすることができるなど、権限が強く「厳しい監査役」といえます。



(ウラ面へ続く)



一方、監査役といっても取締役の全部を監視するのではなく、**会計に関する部分だけ監視する**タイプもあります。上場企業などのような公開会社においては厳しい監視の目が必要ですが、非公開会社のように十分に目が行き届く範囲内であればそこまで強く監視する必要はないだろうということもあり、重要な会計部分だけ監視する責務を負う監査役です。

このタイプの監査役は、前述の厳しい監査役のように行為差止めを求めたりする権限はなく、比較的「穏やかな監査役」といえるかもしれません。非公開会社（監査役会、会計監査人設置会社を除く）において定款で「監査役の監査範囲は、会計に関するものに限定する」旨の定めがあれば、「穏やかな監査役」タイプとなりますが、規模の大きくない中小企業においては、会計監査に限定された監査役が多いのです。

### ☆☆監視を厳しくする傾向に

昨今では、企業で問題が発生しブランドイメージの低下や大きな損失を被ることがないように、監視体制の強化が求められる傾向にあります。監査役に関しても同様で、監査役の権限を会計に限定する場合、従来は内部書類である定款に定めておけば良いだけだったのですが、登記することが求められるようになりました。**監査役**の権限が**会計に限定されているすべての会社において、その旨を登記しなければならない**こととなります。

平成18年5月1日（前回の会社法改正）以前に設立された中小企業では、自動的に監査役の権限は会計に限定されています。**しかし、そうした会社でも、監査の範囲が「会計限定」であることを新たに登記せよ、というわけです。**一方、平成18年5月1日以後に設立した会社である場合には、監査役の権限を会計に限定する旨の定款の定めがあれば登記が必要となります。



登記にあたっては、監査役の監査の範囲を限定することを決議した書類（定款や株主総会議事録など）を添付する必要があります。ただ、前述のように平成18年5月1日以前から存在する中小企業は自動的に監査範囲が限定されている場合には決議書面がありませんから、代表取締役が作成する証明書を代わりにすることもあります。



登記の期日については経過措置として猶予が設けられていますが、中小企業においては該当するケースが多いので、忘れずに登記するように注意が必要です。  
(文章：石島慎二郎)



# 私の住む街紹介

加藤美智子編



今回紹介する街は、私加藤が住む**越谷市**です。

越谷市はただの市ではなく、“中核市”なのです。「中核市って、なに??」と思われる方が多いと思いますが、中核市というのは、規模や行政能力などが一定水準以上ある場合に指定される市で、日本の**大都市制度**で認められた市のことです。越谷市はちょうど平成27年4月から中核市となりました。

埼玉県の南東部に位置し、人口は約33万人で埼玉県では人口第5位なのですが、鉄道は東武スカイツリーラインが南北に縦断、JR武蔵野線が東西に横断しており注目度の高い街なのです。その見どころをご紹介します。

## 南越谷阿波踊り



毎年8月下旬に南越谷駅（武蔵野線）、新越谷駅（東武スカイツリーライン）周辺で開催されます。

阿波踊りといえば、徳島や高円寺（東京）のお祭りが有名ですが、南越谷阿波踊りも肩を並べる規模で、**日本三大阿波踊りの一つ**とされています。昭和60年の第1回では約3万人だった来場者が、30周年を迎えた今では60万人を超える人気となっています。

大きなお祭りなので露店もたくさん出ます。最初の頃は、露店で焼きそばやたこ焼きなど買って縁石でゆったり観ることが楽しみ…だったのですが、最近ではお目当ての露店に行くことも難しく、何重もの人垣の間からなんとか観るぐらいの人手の多さです。それでも見応えは十分で、本場徳島から連（踊り子グループ）も参加していますが、さすが本場の人たちは素人目でもわかるぐらい**踊りがとてもきれいで迫力があります**。踊りを見て、「私も踊ってみたいな〜」と毎年思っています。

今年は8月21日（金）22日（土）23日（日）開催予定です。



## 越谷レイクタウン



2008年に街開きしたニュータウンです。同年、日本最大級のショッピングセンター「イオンレイクタウン」が開業し一躍有名になりました。イオンレイクタウンには、なんと**700を超える店舗**が入っており、とにかく広いです！

イオンレイクタウンは「kaze」「mori」「アウトレット」の3棟から構成されていますが、通路が複雑で、kaze から mori へ行こうと思っているのに気がついたら駅の方に戻ってしまった…なんてこともありました。ファッション関係は若い人向けが多いかなと思いますが、私の大好きな雑貨屋さんも沢山入っているの、見て歩くだけでも楽しいです。

ベンチが数多く設置されていますので疲れたらちょっと一休みができます。とはいえ、東京マラソンを走る所長代理も「途中で疲れて歩けなくなった」とのことですし、一日では回りきれないほどの規模ですので、**歩き慣れた靴で行くことをお勧めします！**

## しらこばと水上公園

付近に生息する、県民の鳥「シラコバト」にちなんで命名されたこの公園には、流水プール、スライダープール、もぐりプール、さざなみプールなど、**9つのプール**がありますので、暑い時期に最適です。



夏のプールのほかにも、ます釣り場、自転車広場、ミニチュアゴルフ、バッテリーカーなどがあり、四季を通して子供から大人まで楽しめるレクリエーション施設です。芦原も毎年家族で楽しんでいるようで、「県営なので料金が安いです！いろいろなプールがあり楽しめますが、人は多くイモ洗い状態になることもあります」(芦原談)。

## 新越谷ヴァリエ

東武スカイツリーライン新越谷駅の駅ビルです。1階は生鮮食品、ケーキショップなどの食品街、2~3階はファッション売り場、4~5階がレストラン街です。



私は毎日仕事帰りにヴァリエの中を通り抜けウインドショッピングしながら帰宅しています。ファッション関係は若い人向けが多いのですが、見るだけでも楽しいです。生鮮食品は近隣のスーパーに比べると少し高めですが品物は良いかな~と思います。以前会計メモでご紹介した「**る・菓壇**」さんの**ケーキショップ**も入っていますので、ご褒美スイーツにもおすすめです！

まだまだ越谷は見所いっぱいですが紙面の関係上今回はここまで…。

また機会がありましたら第2弾をご紹介したいと思います。

皆様ぜひ越谷に遊びに来てくださいね！